

医学を基礎とするまちづくり Medicine-Based Town (MBT) コロキウム

2016年11月14日(月) 開催



■ 後援

内閣府
総務省
文部科学省
厚生労働省
経済産業省
国土交通省
奈良県
橿原市
新宿区
科学技術振興機構
産業技術総合研究所
NHK (第1部)
日本経済新聞社
関西経済同友会
土木学会
日本建築学会
日本都市計画学会
日本造園学会
日本都市学会
都市住宅学会

日本老年医学会
日本在宅医学会
日本足の外科学会
日本整形外科学会
スポーツ医学会
日本下肢救済・足病学会
日本プライマリー・ケア連合学会
日本都市センター
日本建築家協会
日本建築士会連合会
都市計画協会
東京建築士会
関西健康・医療創生会議
関西文化学術研究都市推進機構
都市づくりパブリックデザインセンター
稲門建築会

(依頼中含む)

■ 問い合わせ

第1部

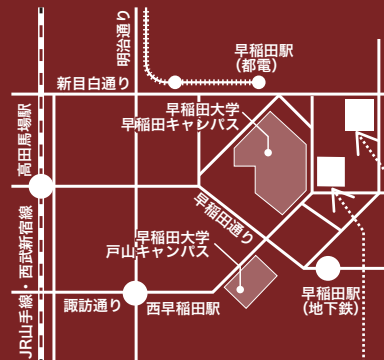
早稲田大学 重点領域研究機構
医学を基礎とするまちづくり研究所
Email: wasedambt@gmail.com
HP: <http://pi-mbt.wix.com/home>

第2部

奈良県立医科大学MBT研究所
電話: 0744-29-8913 (担当: 遊佐、鉄村)
Email: mbt@naramed-u.ac.jp
HP: <http://www.naramed-u.ac.jp/university/kanrenshisetsu/mbt/>
参考HP (一社) MBTコンソーシアム: <http://mbt.or.jp>

■ 両会場へのアクセス

JR山手線/西武新宿線 高田馬場駅 徒歩20分
地下鉄東西線 早稲田駅 徒歩8分
都バス(学バス) 西早稲田 徒歩1分
都電荒川線 早稲田 徒歩3分



第1部 早稲田大学大隈記念講堂
東京都新宿区戸塚町1-104

第2部 リーガロイヤルホテル東京
東京都新宿区戸塚町1-104-19

早稲田大学・奈良医大の共同研究「MBT」のさらなる推進に向けて

2012年より、奈良県立医科大学と早稲田大学は「医学を基礎とするまちづくり (MBT: Medicine-Based Town)」に関する研究を進めています。この研究は、わが国が直面する喫緊の社会的課題(少子高齢社会のまちづくり、産業創生、地方創生)に対し、両大学の協働を核に、産学官の連携による課題解決を目指すものです。2015年、早稲田大学は重点領域研究として「医学を基礎とするまちづくり研究所」(所長:後藤春彦 早稲田大学 教授)を設立し、また奈良県立医科大学では2016年4月、産業界と一体となって「一般社団法人MBTコンソーシアム」(理事長:細井裕司 奈良県立医科大学 理事長・学長)を、さらに2016年6月には「MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所」(所長:細井裕司)を設立しました。このように、研究体制が強化されたことを受けて、急がれる社会的課題の解決に対して一層の研究推進をはかるべく、この度コロキウムを開催する運びとなりました。皆様のご参加をお待ちしております。

第1部

早稲田大学研究院フォーラム2016

「MBT(医学を基礎とするまちづくり)の最先端」

日時: 2016年11月14日(月) 13:30-17:20 (開場13:00)

会場: 早稲田大学大隈記念講堂 ※定員: 1,100名 (無料)

主催: 早稲田大学

共催: 奈良県立医科大学、一般社団法人MBTコンソーシアム

プログラム

- ・主催挨拶 鎌田 薫 早稲田大学 総長
- ・共催挨拶 細井裕司 奈良県立医科大学 理事長兼学長
- ・基調講演1 荒井正吾 奈良県知事
- ・基調講演2 Patrick Seeb 米国ミネソタ州ロチェスター市 DMC経済開発局 経済開発・地域づくり局長
- ・報告1 後藤春彦 早稲田大学MBT研究所 所長
- ・報告2 一般社団法人 MBTコンソーシアム
- ・紹介 奈良県立医科大学教授陣

ほか

第2部

「新産業創生のための 企業と医師との交流相談会」

日時: 2016年11月14日(月) 18:00-20:00

会場: リーガロイヤルホテル東京 ※定員: 500名 (会費: 2,000円)
MBTコンソーシアム会員は会費無料

主催: 奈良県立医科大学、一般社団法人MBTコンソーシアム

共催: 早稲田大学

プログラム

- ・MBTに関心ある企業とPatrick Seeb氏との意見交換 (定員100名)
 - ・奈良医大学長および教授陣(約70名)と企業の交流相談会
- *MBTコンソーシアム会員企業によるブース展示あり

ほか

参加申し込み

下記ホームページから、事前の参加申し込みを受け付けています

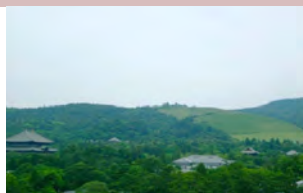
<http://pi-mbt.wix.com/home>

主なプログラム紹介

第1部 基調講演1

奈良県が進める健康長寿・地域包括ケアのまちづくり

高齢化が進む社会における医療のあり方、高齢者が健康で幸せに暮らせる社会のつくり方、あらゆる人が共存・共生できるコミュニティづくりについて、奈良県、市町村、民間が連携して取り組む考え方、実践例を紹介する。



奈良県知事 荒井 正吾

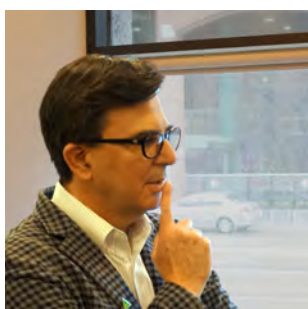


奈良県知事（3期目）、社会保障審議会医療部会委員、社会保障制度改革推進会議専門委員（医療・介護分野）、医療介護総合確保促進会議委員。運輸省自動車交通局長、海上保安庁長官、外務大臣政務官、参議院文教科学委員長ほか歴任。

第1部 基調講演2

全米No.1の Mayo Clinic を核とした医療都市

ミネソタ州DMC経済開発局



DMC局長
Patrick Seeb

全米No.1と評価される総合医療グループ“Mayo Clinic”を核とした都市開発・産業振興計画がミネソタ州ロチェスター市で進められている。同市中心部にはMayo Clinicの医療施設や患者滞在施設・ホテル等が整備され、それらが空中回廊等で連結されるなど、医療都市が形成されている。

さらに2013年には公民連携で経済開発イニシアチブ「DMC (Destination Medical Center) 経済開発局」が設立され、Mayo Clinicを核とした都市開発・産業振興計画が実行に移され、今後20年で60億ドルを超える投資が想定されている。

本コロキウムでは「DMC経済開発局」経済開発・地域づくり局長のPatrick Seeb氏を招き、DMCプロジェクトの全貌を我が国で初めてご紹介いただく。



DMC完成俯瞰イメージ図、都市空間の随所に医療関連施設が埋め込まれる

メリットケア・ヘルスシステム脳外科および精神科、ヘルスケア・インフォメーション・サービス社社長等をへて、1995年より2015年までセントポール・リバーフロント社社長。川沿い地域の再開発やまちづくりを主導してセントポール市への投資呼び込みに貢献し、International Waterfront Centerより「ベスト・ウォーターフロント計画賞」を授与されるなど、地域開発プランナーとして高い評価を得る。

2015年9月、ミネソタ州ロチェスター市を中心とした地域においてメイヨークリニックを核に、都市開発と産業振興を推進する「ディスティネーション・メディカル・センター (Destination Medical Center) 経済開発局」の経済開発・地域づくり局長に就任。その手腕に世界が注目している。

第1部 報告

ひとも元気に、まちも元気に

早稲田大学 医学を基礎とするまちづくり研究所

早稲田大学は重要伝統的建造物群保存地区「今井町」において、奈良医大との協働のもと、医大や健康に関連する機能等の空き家へのインフィルによる「まちなか医療」推進と「まちなみ景観」保全にむけたまちづくりをすすめている。

重要伝統的建造物群保存地区「今井町」のまちなみ ▶



早稲田大学教授 後藤 春彦



早稲田大学教授、早稲田大学医学を基礎とするまちづくり研究所所長。工学博士。専門は都市計画・地域計画。

早稲田大学創造理工学部長、日本都市計画学会会長、世界居住学会副会長、日本生活学会会長ほか歴任。

第2部 交流相談会

医学の光をあてた新産業の創生

奈良県立医科大学 MBT研究所 + MBTコンソーシアム

MBTでは産業に医学の光をあてた新産業の創生を行ってきた。この取組みを広く周知いただくため、本コロキウム第2部では奈良医大学長および教授陣（ほぼ全医学領域から約70名参加予定）と企業との交流相談会を実施する。

今年1月21日橿原市で行われたMBTコンソーシアム研究会設立記念シンポジウム交流相談会の様子
シンポジウムには全国から293社、632名が参加した ▶



奈良県立医科大学 理事長・学長 細井 裕司



奈良県立医科大学理事長・学長、一般社団法人MBTコンソーシアム理事長、奈良県立医科大学MBT研究所所長。医学博士。専門は聴覚医学、住居医学など。日本耳鼻咽喉科学会代議員、日本聴覚医学会理事、日本耳科学会理事、日本聴覚医学会会長、日本小児耳鼻咽喉科学会会長ほか歴任。